

1. ポンプ浚渫船の場合

ポンプ浚渫船 運転1日当り 就業22時間

名称	形状寸法	単位	数量						摘要
			鋼D 1,350PS型 993kW	2,250PS型 1,655kW	3,200PS型 2,354kW	4,000PS型 2,942kW	6,000PS型 4,413kW	8,000PS型 5,884kW	
主燃料	重油A	ℓ	5,354	8,923	12,693	15,864	23,795	31,726	
船団長		人	2×β	2×β	2×β	2×β	2×β	2×β	2ワッチ
高級船員		〃	2×β	2×β	2×β	4×β	4×β	4×β	〃
普通船員		〃	20×β	22×β	22×β	26×β	30×β	34×β	〃
損料	運転	時間	16						
〃	供用	日	α						

1. ポンプ浚渫船の場合

ポンプ浚渫船 運転1日当り 就業22時間

名称	形状寸法	単位	数量						摘要
			鋼D 1,350PS型 993kW	2,250PS型 1,655kW	3,200PS型 2,354kW	4,000PS型 2,942kW	6,000PS型 4,413kW	8,000PS型 5,884kW	
主燃料	重油A	ℓ	5,354	8,923	12,693	15,864	23,795	31,726	
船団長		人	2.75×β	2.75×β	2.75×β	2.75×β	2.75×β	2.75×β	
高級船員		〃	2.75×β	2.75×β	2.75×β	5.50×β	5.50×β	5.50×β	
普通船員		〃	27.50×β	30.25×β	30.25×β	35.75×β	41.25×β	46.75×β	
損料	運転	時間	16						
〃	供用	日	α						

※1：各労務数は、現行基準で1ワッチ当たり11時間就業として計上している労務数を8時間当たりの労務数で計上する。

※2：船員供用係数(β)は下表を適用する。

※3：ここで提示する労務数及び船員供用係数(β)は、就業時間及び運転時間について「①通常の場合」を採用する場合に適用するもの。「②浚渫船の一時退避に伴う運転時間の補正」、「③その他の場合の就業時間、運転時間」を採用する場合は、労務数及び船員供用係数を補正するものとする。

係数ランク	船員供用係数(β)	
	船団長・高級船員	普通船員
1	1.25	1.24
2	1.40	1.39
3	1.60	1.59
4	1.85	1.84
5	2.05	2.04
6	2.30	2.29
7	2.65	2.64
8	3.10	3.09
9	3.75	3.74

ポンプ浚渫船 供用1日当り

名称	形状寸法	単位	数量						摘要
			鋼D 1,350PS型 993kW	2,250PS型 1,655kW	3,200PS型 2,354kW	4,000PS型 2,942kW	6,000PS型 4,413kW	8,000PS型 5,884kW	
船団長		人	2	2	2	2	2	2	
高級船員		〃	2	2	2	4	4	4	
普通船員		〃	20	22	22	26	30	34	
損料	供用	日	1						

ポンプ浚渫船 供用1日当り

名称	形状寸法	単位	数量						摘要
			鋼D 1,350PS型 993kW	2,250PS型 1,655kW	3,200PS型 2,354kW	4,000PS型 2,942kW	6,000PS型 4,413kW	8,000PS型 5,884kW	
船団長		人	2	2	2	2	2	2	
高級船員		〃	2	2	2	4	4	4	
普通船員		〃	20	22	22	26	30	34	
損料	供用	日	1						

2. 安全監視船の場合

安全監視船 運転1日当り

就業22時間

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			FRP D 180PS 型 10.0t、132kW	FRP D 260PS 型 15.0t、191kW	
主燃料	重油 A	ℓ	98	141	
高級船員		人	2×β	2×β	2ワッチ
普通船員		〃	2×β	2×β	2ワッチ
損料	運転	日	1		
〃	供用	日	α		

2. 安全監視船の場合

安全監視船 運転1日当り

就業22時間

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			FRP D 180PS 型 10.0t、132kW	FRP D 260PS 型 15.0t、191kW	
主燃料	重油 A	ℓ	98	141	
高級船員		人	2.75×β	2.75×β	
普通船員		〃	2.75×β	2.75×β	
損料	運転	日	1		
〃	供用	日	α		

※1：各労務数は、現行基準で1ワッチ当たり11時間就業として計上している労務数を8時間当たりの労務数で計上する。

※2：船員供用係数(β)は下表を適用する。

※3：ここで提示する労務数及び船員供用係数(β)は、ポンプ浚渫船の就業時間及び運転時間について「①通常の場合」を採用する場合に適用するもの。「②浚渫船の一時退避に伴う運転時間の補正」、「③その他の場合の就業時間、運転時間」を採用する場合は、安全監視船の労務数及び船員供用係数を補正するものとする。

係数ランク	船員供用係数(β)	
	船団長・高級船員	普通船員
1	1.25	1.24
2	1.40	1.39
3	1.60	1.59
4	1.85	1.84
5	2.05	2.04
6	2.30	2.29
7	2.65	2.64
8	3.10	3.09
9	3.75	3.74

3. 排砂管設備工_排砂管保守

排砂管保守 1日当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
普通作業員		人	4	2ワッチ
雑材料				

保守要員は、普通作業員2人1組2交代を標準とし、就業22時間・2交代制の労務単価を適用する。

3. 排砂管設備工_排砂管保守

排砂管保守 1日当り

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
普通作業員		人	5.5	
雑材料				

※1：労務数は、現行基準で1ワッチ当たり11時間就業として計上している労務数を8時間当たりの労務数で計上する。

※2：普通作業員の労務単価は、現行の港湾請負工事積算基準で見込んでいる深夜割増時間(12時間)を考慮した単価を適用する。